

令和7年度

事業計画書

令和7年4月 1日

令和8年3月31日

令和7年度 公益財団法人 庄内地域産業振興センター 事業計画書

〔基本方針〕

最新の各種報告書（山形財務事務所、山形県、鶴岡市の経済報告等）に基づけば、住宅建設や観光分野の回復傾向および一部生産活動の持ち直しが確認される一方で、新車登録台数の減少や依然として高い有効求人倍率が示すように、全体としては緩やかな回復基調にあると判断されます。

しかしながら、雇用・所得環境の改善ペースの鈍化、物価上昇、さらには市場の変動リスクといった不確実性が残るため、慎重な対応が求められます。

こうした状況を踏まえ、当センターでは、人材不足の解消と育成、並びにデジタルトランスフォーメーション（DX）への迅速な対応を中心とした支援体制を一層強化いたします。また、関係自治体および産業支援機関と連携し、地域の中小企業および小規模事業者が直面する多様な経営課題の解決を支援することで、庄内地域並びに山形県産業の持続的成長と発展に寄与します。

（重点事項）

1. 新たな価値創造に取り組む企業活動や創業への支援

経営革新と生産改善を目指す地域企業、そして独創的なアイデアで創業を目指す起業家を支援するため、起業・経営セミナーと各種相談会を通じて、企業の成長を支援します。また、デジタル変革（DX）を推進し、電子商取引（EC）やソーシャルネットワークワーキングサービス（SNS）を活用したデジタルマーケティングや販売促進のための実践型セミナーを、山形県よろず支援拠点と連携して行い、新しい商品やサービスの創出に取り組む企業を支援します。更に、ものづくり現場の生産改善等の相談・指導やその事例発表会の実施を通して、地域企業の競争力と生産性の向上を支援します。

2. 企業競争力向上・変革に対応できる産業人材の育成

地域企業の産業の基盤技術向上と課題解決力の向上を目的として、企業の従業員を対象にした「職業能力開発講座」を開講していきます。階層別研修、ビジネス実務、生産改善、品質管理、コミュニケーション能力、問題解決力向上など、ビジネス環境の変化に対応した人材育成プログラムにより、地域企業の経営革新や新規事業推進に貢献する産業人材の育成を支援します。

3. 産学連携によるバイオテクノロジーを活用した研究開発の促進と事業化の支援

慶應義塾大学先端生命科学研究所、山形大学農学部および県内公設試験研究機関の先端技術を活用し、地元企業のニーズと大学等の研究シーズのマッチングを推進することで、産学官連携による革新的な研究開発および製品化と市場導入を実現します。

加えて、国立がん研究センターや地域医療機関との連携を通じ、メタボローム解析技術を駆使したがん研究および地域医療モデルの構築に取り組むとともに、経済産業省の成長型中小企業等研究開発支援事業（Go-Tech 事業）の事業管理機関として、ものづくり基盤技術およびサービスの高度化を支援します。新たに、鶴岡ガストロノミックイノベーション計画推進事業においては、新食材開発、高付加価値食材開発、及び食産業関連技術開発の三本柱に沿った共同研究開発を推進し、得られた成果の実用化・産業化を通じて地域経済の活性化と新たな雇用創出を図るとともに、山形大学と慶應先端研の大学改革事業や鶴岡サイエンスパークを中心としたバイオクラスターとの連携により、迅速な企業活動への結びつきと国内外市場への展開、さらには関連産業への波及を支援します。

4. 公の施設の管理運営・利活用の促進

指定管理者として運営している公共施設の適切な管理運営を行います。利用者の多様な要望に応えるべく、デジタル環境の整備をはじめとしたサービスの向上に努め、施設利用の促進を図ります。また、自主企画事業での活用に加え、企業研修やセミナー、情報、技術、文化の各分野での利用と交流の促進により、施設の有効活用と、地域産業の振興及び地域社会の活性化を目指します。

I 公益目的事業

1 企業経営力強化支援事業（事業費 17,164 千円／鶴岡市・財団）

1-1 経営サポート・新事業支援事業（12,385 千円）

独創的な技術・独自のアイデアによる起業や経営革新・生産改善をめざす地域企業に対し、山形県よろず支援拠点庄内サテライトと連携した経営課題解決セミナーや専門のアドバイス等を行うほか、将来のビジネス創出に向けて戦略的かつ発展的な経営を目指す企業活動を支援する。

（1）経営実践セミナー等の実施

地域中小企業・小規模事業者の持続的な成長と収益力向上のため、経営幹部等を対象とした経営セミナー、顧客価値の変化に対応したEC化、DX化を推進する実践的セミナーや相談会等を山形県よろず支援拠点、金融機関・支援機関等と連携協力を図りながら共催し、地域企業の事業創出、課題解決に対し効果的な支援を行う。

- 経営計画書作成講座（1 回）
- SNS 活用集客実践会（2 回／山形県よろず支援拠点連携）
- 物販×CF 実践会（1 回／山形県よろず支援拠点連携）
- 経営者向け「財務戦略講座」、「組織変革リーダーシップ講座」

（2）起業応援セミナー等の実施

鶴岡市の創業支援計画に基づく創業支援事業者として、地域の起業促進、起業マインド醸成のため、起業予定者を主な対象として、事業戦略・マーケティング・戦略会計等、起業に必要な実践的なスキルや情報を提供する「起業応援セミナー」を定期的に実施する。

- 起業応援セミナー（3 回／7 月、10 月、2 月）

（3）地域企業による改善活動事例発表会の開催

ものづくりの現場で積極的に改善活動に取り組む企業の事例発表や参加者の意見交換による持続的な現場改善の機運醸成のため、改善事例発表会「私のかいぜん発表会」を開催する。

1-2 起業家育成施設事業者・創業予定者への経営相談・助言（4,149 千円）

起業家育成施設入居事業者及び入居希望者への経営課題解決のアドバイスや山形

県よろず支援拠点等の専門家による販路開拓指導等の支援を行う。また、同施設内のコワーキングスペースにおいて、起業予定者・ビジネスパーソン等を対象とした起業・ビジネスに関するワークショップ、夜間相談会等を実施し、起業気運醸成とビジネス課題解決に向けた支援を行う。

- 起業・ビジネス夜間相談会（6回／日本公庫と連携）

1－3 企業間・産学交流連携促進事業（630 千円）

経営者の相互交流による経営革新・取引連携の促進を目的に、時勢に即したテーマによる経営セミナーを実施する。

2 産業人材育成事業（事業費 14,118 千円／鶴岡市・財団）

2－1 企業立地産業人材育成事業（896 千円）

ものづくりの現場で中核となる人材育成を目的に、製造現場の生産性・品質向上等の体系的な研修を実施する。

（1）生産管理者・生産改善研修の実施

- 品質管理・生産性向上に関する講座 7 講座定員 140 人

2－2 職業能力開発講座事業（13,222 千円）

職業に必要な技術、技能及び知識を習得する各種の教育訓練や研修等の機会を提供し、地域の企業で働く方々の職業能力開発と一層のレベルアップ、キャリア形成を促進することにより、地域企業の組織活性化、生産改善、新事業展開、経営革新に向けた取り組みのリーダーとなる産業人材の育成をめざす。

（1）職業能力開発講座の実施

- 階層別講座（若手社員～管理者） 4 講座定員 80 人
- 資格取得準備講座（機械保全技能検定） 1 講座定員 20 人
- 職能別スキル向上講座（ビジネススキル等） 12 講座定員 218 人

（2）新社会人就職スタートセミナー等の実施

就職が内定した高校3年生を対象に、新しい職場への定着をはかり、社会生活に必要な基本的知識、ビジネススキル、生活設計等を習得する新社会人就職スタートセミナーを実施する。

3 産学共同研究等促進支援事業（事業費 368,739 千円／国・山形県・鶴岡市・財団）

3-1 バイオクラスター形成促進事業（238,811 千円）

山形県バイオクラスター形成推進会議（会長山形県知事）の事業推進機関として、慶應義塾大学先端生命科学研究所（慶應先端研）、山形大学農学部や県公設試等の先導的なバイオ研究シーズを活用した共同研究プロジェクト創出による地域活性化をめざし、産学官連携のコーディネート、バイオサイエンスセミナーや県内企業のバイオ研究開発の促進と新規事業化・事業拡大の取組を支援する。また、国立がん研究センター、慶應先端研のがんメタボローム共同研究の推進及び新たながん地域医療モデルの構築へ向けた取組を支援する。

（1）産学官共同研究コーディネート活動の実施

慶應先端研及び慶應先端研発ベンチャー企業と県内企業の共同研究による商品開発・新事業創出のため、専門のコーディネーターを配置し、慶應先端研の研究シーズの県内企業への紹介、企業の事業化ニーズの調査や産学官の共同研究推進等のコーディネート活動を行う。

（2）産学官研究交流事業の実施

バイオ関連産学官の連携基盤形成とバイオテクノロジーを活用した産学官連携による共同研究創出のため、産学官の共同研究成果を紹介する「バイオサイエンスセミナー」を開催する。

（3）共同研究シーズ事業化支援事業

慶應先端研及び慶應先端研発ベンチャー企業の研究シーズを活用した県内企業の事業化を促進するため、慶應先端研等と県内企業の共同研究及び事業化に向けた具体的な取組を一貫して支援する。

- 共同研究シーズ高度化支援助成事業（シーズ探索型・事業化推進型）

（4）がんメタボローム研究推進支援事業

メタボローム解析技術を活用したがんの研究を推進し、研究成果を活用した地域振興を図るため、国立がん研究センター、慶應先端研が共同で推進する国立がん研究センター鶴岡連携研究拠点のがんメタボローム研究の深化と、がん研究・診断を基盤としたがん地域医療モデル構築のためのプロジェクトを支援する。

- 2つの研究プロジェクト（代謝物解析研究・がん遺伝子産物解析研究）
- がん国際会議・鶴岡カンファレンス（9月）

3-2 鶴岡ガストロノミックイノベーション計画推進事業（100,900 千円）

鶴岡ガストロノミックイノベーション計画に基づき、新食材開発、高付加価値食材開発、食産業関連技術開発の三本柱に沿った共同研究開発プロジェクトを推進します。これにより、得られた研究成果を実用化・産業化し、地域経済の活性化や新たな雇用の創出を目指します。また、山形大学と慶應先端研の大学改革事業や、鶴岡サイエンスパークを中心としたバイオクラスターの形成と連携することで、研究成果が迅速に企業活動へ結びつき、国内外の市場展開や関連産業への波及効果が期待され、地域ブランディングと国際競争力の向上を支援します。

最新のバイオ技術やメタボローム解析を活用して、納豆菌粉などの新食材開発や高付加価値食品の製品化、及び食産業関連技術の革新につながる共同研究の支援により新産業創出と地域経済活性化を図る食産業創造事業と、研究成果が迅速に企業活動へ結びつくようコーディネーターによるマッチング支援を実施し本計画全体の円滑な遂行と成果の社会実装を支える計画推進事業を統合的に実施します。

3-3 中小企業等研究開発プロジェクト推進事業（29,028 千円）

ものづくり基盤技術の高度化を目的に法律に基づく認定計画を受けた中小企業等が大学等と連携し、事業化に向けた研究開発等の取組を国が支援する成長型中小企業等研究開発支援事業の事業管理機関として研究開発プロジェクトを推進する。

○「AIによる素材が腸内環境へ与える環境の評価システムの開発」(R6～R8年度)

※ 研究体制(株)メタジェン、(大)東京科学大学

II 収益事業

1 施設管理運営事業（事業費 11,988 千円／鶴岡市）

起業家支援・産業人材育成等の拠点施設である鶴岡市庄内産業振興センターの指定管理者として、各施設・設備の貸出業務、維持管理等の運営業務を行う。また、起業家育成施設(スモールオフィス・コワーキング)では、各種支援事業を積極的に展開することで、起業間もない事業者の入居を促進し事業の立ち上げを支援する。

III 法人運営事業（事業費 10,129 千円）

公益財団法人として、関係法令を遵守し責任ある法人運営に努めるとともに、働き方改革を念頭に、限られた職員体制の中での効率的・効果的な事業執行のため、クラウドサービスの活用等による業務プロセスのデジタル化に努める。また、企業活動に有益な情報を受発信し、財団の認知度と利用者の満足度の向上を図る。